

プレカット部材で現場の合理化を図る

扶桑建材工業(株)



扶桑建材工業(株)

香川県の扶桑建材工業株式会社（香川県高松市、辻井憲治社長）は、四国エリアへの外装材・住設機器等の販売に加えて、香川県内では外装・鋼製建具・住設工事の施工を材工一式で請負うなど、官民の工事物件で幅広い実績を持つ企業。従業員数は47名（パート含む）、敷地面積3,700㎡（1,121.2坪）、建物面積1,427㎡（422.4坪）の本社・工場の隣には、新築・リフォームのショールーム「リビングココイチショップ」をオープンさせている。同社の位置する高松市郷東町は香川県道175号の終点となっており、流通面において恵まれた立地環境といえる。

同社は昭和21年に四国建材社として創立、その後、昭和28年に社名を扶桑建設工業(株)に変更。昭和52年までにサッシ営業部、住機営業部、建材営業部、サッシ工業、住建事業部を順に発足させ、屋根材・外壁材・住設機器の卸販売やサッシ・ドアの組み立て工事、材工一式の外装工事などを手がけるようになった。

会社が現在の形となったのは昭和53年のこと。総合水処理企業である(株)フソウの子会社として現在の扶桑建材工業(株)を創立。昭和60年に扶桑サッシ工業(株)と扶桑住建(株)を吸収合併した後、平成12年にリフォーム事業、平成21年に新築事業をスタート、平成24年に「リビングココイチショップ」をオープン。現在では四国四県への総合建材の卸販売事業、外装の専門工事業、新築・リフォームの元請事業を3本の柱としている。

サイディングプレカットの将来性

同社は外装施工の受注が増加する一方で、依然として続く職人不足の現状を鑑み、昨年8月からサイディングプレカット事業をスタートさせている。

同社の辻井社長によると、将来的な職人不足を懸念し、5年ほど前にサイディングプレカットシステムの